

5.1 メーテー

全国で多彩なたかい

社会党の村山委員長は、「社会党の多數派形成のために、権力を壊断することによって連立の構組みが崩れた」と、衆議院会派・「改新」の結成を厳しく批判した。これに対して、公明党や日本新党は「社会党も政策協議に合意したではないか」と逆襲し、社会党に政権復帰を呼びかけた。

一方、亀戸中央公園で開かれた全労連系のメーデーでは、消費税率アップ、年金改悪、有事立法などに反対するプラカードが目立ち、大江議長が「大企業の社会的責任を追及して九四春闘をたたかった。羽田新政権に対する解散・総選挙を強く要求する。国民本位の政治を実現しよう」と訴えた。

日比谷公園で開かれた全労連系のメーデーは、社会党の羽田連系、全労協系の三会場に分かれた。第六十五回メーデーが、五月一日、全国で行われた。東京の中央メーデーは、連合系、全労連系、全労協系の三会場に分かれた。

メーデーが、五月一日、全国で行われた。東京の中央メーデーは、連合系、全労連系、全労協系の三会場に分かれた。

連合会長・山岸は、「政局の混迷で連合八百万労働者の団結にひびが入ることのないよう組織防衛の取り組みを強化することになった。

止になつた。

メーデーは、社会党の羽田連立政権からの離脱により、メーデー史上はじめて来賓として総理大臣を迎えるという計画は中止になつた。

連合会長・山岸は、「政局の混迷で連合八百万労働者の団結にひびが入ることのないよう組織防衛の取り組みを強化することになった。

止になつた。

メーデーは、社会党の羽田連立政権からの離脱により、メーデー史上はじめて来賓として総理大臣を迎えるという計画は中止になつた。

連合会長・山岸は、「政局の混迷で連合八百万労働者の団結にひびが入ることのないよう組織防衛の取り組みを強化することになった。

止になつた。

メーデーは、社会党の羽田連立政権からの離脱により、メーデー史上はじめて来賓として総理大臣を迎えるという計画は中止になつた。

止になつた。

これが重要」と述べた。

反基地闘争を放棄した。また、

「日本国憲法は国連による普遍的安全保障を理念としている」ことを認識し「国連の平和維持活動に積極的に参加する」とし

て、小沢憲法調査会の考え方を受け入れた。このことは、「護憲」の党といわれていた社会党が解釈改憲を行い、自衛隊の国

連軍への参加も可能にした。さ

らに、「間接税の税率引き上げを中心とした税制の抜本改革」を認め、消費税率の引き上げを容認した。

このように、社会党が大きく

変わったことは事実である。旧

連合系メーデーは、参加者

音は労働者の熱気に包まれた。

会場には、各職場・争議での

闘闘をたたかれた。羽田新政権に

対して、解散・総選挙を強く要

求する。国民本位の政治を実現

しよう」と訴えた。

日比谷公園で開かれた全労連系のメーデーは、管理職組合や

連合系メーデーは、参加者

音は労働者の熱気に包まれた。

会場には、各職場・争議での

闘闘をたたかれた。羽田新政権に

対して、解散・総選挙を強く要

求する。国民本位の政治を実現

せることで、労働運動は、日帝による

